

副会長には中口伸一氏（サンワコン）と宮本克彦氏（関組）を選出した。

10年度事業では△福井方式の確立を目指した

地域に根ざした活動△研修会のさらなる充実△日

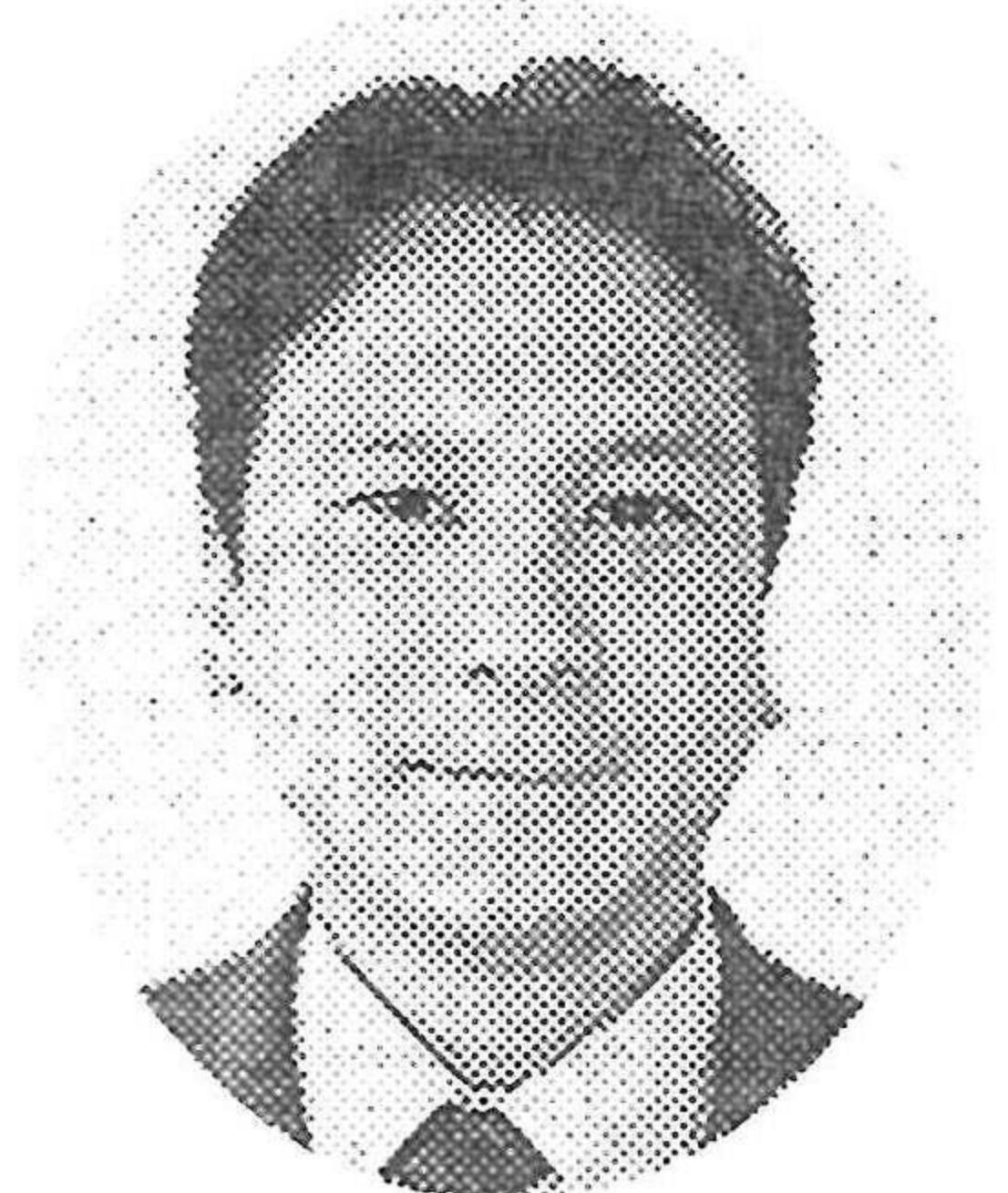
本コンクリート診断士会や他県の診断士会との連携および交流促進△社会貢献事業などに取り組む。また、全国組織に対

石川会長が再選

県コンクリート診断士会総会

福井県コンクリート診断士会は2日、JR福井駅東口前のアオツサで定期総会を開き、役員改選で石川裕夏会長（福井宇宙コンクリート）を再度選することも、10年度事業計画などを決議した。

石川 裕夏氏



役員改選などを行った総会

会員633人のうち、委任状を含む54人が出席。冒頭、石川会長が「会員が増え続けており、北陸3県の中では最も多い。改めて意識の高い会員の理解と協力をもって会が成り立っていることに感謝している。会が発足し6年が過ぎた。コンクリート診断士の存在が広く知れわたるようになり、周りからの期待も高まっているが、我々

続いて10年度事業・収支決算報告および10年度事業計画案・収支予算案などを審議、承認したあと役員改選を行い、

は地道に社会的役割を果たせるようにしたい」と述べたうえで、診断士会の全国組織が設立されようとしている。我々としては、これにどう関わっていくか考え方判断していくしかねばならない。私としては地域の特性を生かしては地域の特性を生かしノウハウを蓄積していくことと、福井の地域のネットワークを構築する事が大事だと思う。地域の環境条件を考慮した技術と考え方方が求められていることを踏まえると、地域性をいかに生かしていくかにつき、「などと呼びかけた。

総会後は研修会を開き、宇部興産建設資材カンパニー建材事業部の岡田由紀彦氏が「下水道施設におけるコンクリート構造物の腐食と防食技術」をテーマに講演した。

